

テーマ「家族」

令和2年
受付期間 7月1日～11月29日

背景：法華寺畑遺跡から見た伯耆大山

「家族」をつなぐ

歌がある

山上憶良
短歌賞

題字 名越蒼竹氏
(公益財団法人書道芸術院理事)

《山上憶良》部分
菅 桶彦筆(個人蔵)

《山上憶良歌碑》(国分寺歴史公園北側)

応募料 無料

作品 自作未発表で一人1首に限る

募集部門 ①小学生の部 ②中学生の部
③高校生の部 ④一般の部

応募方法 倉吉市立図書館に郵送か持参する。
または専用ホームページから応募する。

賞 各部とも憶良賞1首、入選5首
佳作10首、学校賞1校

憶良賞、入選、佳作受賞者には表彰状と副賞を贈呈する。

学校賞受賞者には表彰状を贈呈する。

※なお学校賞は小学生の部、中学生の部、高校生の部において実施する。

選者

永田 和宏 (JT生命誌研究館館長・短歌結社「塔」前主宰
京都産業大学教授・京都大学名誉教授
宮中歌会始詠進歌選者・朝日歌壇選者・角川短歌賞選考委員)

池本 一郎 (鳥取県歌人会顧問・短歌結社「塔」)

多田 典子 (短歌結社「国民文学」・羽合短歌会)

倉益 敬 (鳥取県歌人会長・短歌結社「短歌人」)

岩垣 和久 (倉吉文芸編集委員会事務局長)

中本久美子 (鳥取県歌人会委員・短歌結社「塔」)

表彰式

令和3年3月(日時場所未定) 講評：永田和宏



■主催／倉吉市教育委員会 ■後援／鳥取県教育委員会・鳥取県歌人会

問い合わせ・応募先

倉吉市立図書館(倉吉交流プラザ) 〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町187-1
電話 0858-47-1183 HP <https://www.lib.city.kurayoshi.lg.jp/>

第9回

家族への想ひおくらむ この歌に

山上憶良 短歌賞

題字 名越蒼竹氏
(公益財団法人書道芸術院理事)

応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入の上、
倉吉市立図書館に郵送か持参する。
または専用ホームページから応募する。

応募条件

「家族」をテーマとした自作未発表作で
一人1首に限る。

問い合わせ・ 応募先

倉吉市立図書館(倉吉交流プラザ)
〒682-0816鳥取県倉吉市駄経寺町187-1
電話. 0858-47-1183
FAX. 0858-47-1180
HP. <https://www.lib.city.kurayoshi.lg.jp/>

表彰式

月日：令和3年3月(日時場所未定)
講評：永田和宏

電話番号	住所	氏名	フリガナ
	〒		

鳥取県倉吉市駄経寺町187-1
倉吉市立図書館
「第9回山上憶良短歌賞」行

ハガキ表面貼付用

点線で切る

ハガキ裏面貼付用

短歌作品 記入欄 テーマ「家族」

部門

☐小学生

☐中学生

☐高校生

☐一般

学校

年生

受賞
通知

要・不要 (どちらかを○で
囲ってください)



倉吉市立図書館
イメージキャラクター
ピポル



倉吉市
イメージキャラクター
くらくら

山上憶良と倉吉

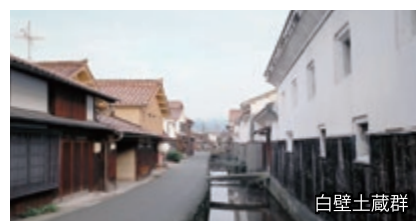
貧窮問答歌で有名な万葉歌人・山上憶良は霊龜2年(716)に鳥取県の西半分にあたる伯耆国(国府は倉吉市に置かれた)に国守として赴任しました。憶良が伯耆国で作った歌は伝わっていませんが、職務で見聞したこと詠んだことでしょう。

倉吉市は、平成24年に「山上憶良短歌賞」を創設し、県内を中心に短歌募集を行ってきました。平成28年に憶良の赴任1300年を迎えるのを機に、全国から広く短歌募集を行い、昨年は47都道府県、海外からご応募いただきました。

募集する短歌のテーマは「家族」です。妻や子、家族への愛を詠った憶良にちなんでおり、短歌をきっかけに家族の絆を見つめ直すとともに、家族愛を育む機会になればと考えています。

また、伯耆国分寺跡に設けられた歴史公園北側に、平成29年山上憶良の歌碑が、市民の方々の寄付によって建立されました。倉吉に来られた際には、ぜひお立ち寄りください。

鳥取県倉吉市



白壁土蔵群